

3 生活

(1) 火災発生状況

令和7年の管内火災件数は73件、死傷者数は13人であり、前年より火災件数は増加したが、焼損面積は減少した。また、四季別では夏季（6～8）月の発生が多かった。原因別にみると「たき火」「こんろ」「電灯・電話等の配線」によるものが多かった。

【表7】管内市町別 火災発生状況（令和7年）

市町・地域	火災件数				焼損面積		り災世帯 (世帯)	死傷者数 (人)
	(件)	うち建物	うち林野	うちその他	建物(m ²)	林野(a)		
鶴岡市	31	15	1	15	279	5	11	7
酒田市	32	21	1	10	2,803	61	13	6
三川町	6	4	0	2	225	0	1	0
庄内町	1	1	0	0	2	0	0	0
遊佐町	3	2	0	1	1	0	1	0
庄内計	73	43	2	28	3,310	66	26	13
対前年	111%	90%	200%	165%	76%	330%	79%	130%
令和6年	66	48	1	17	4,361	20	33	10

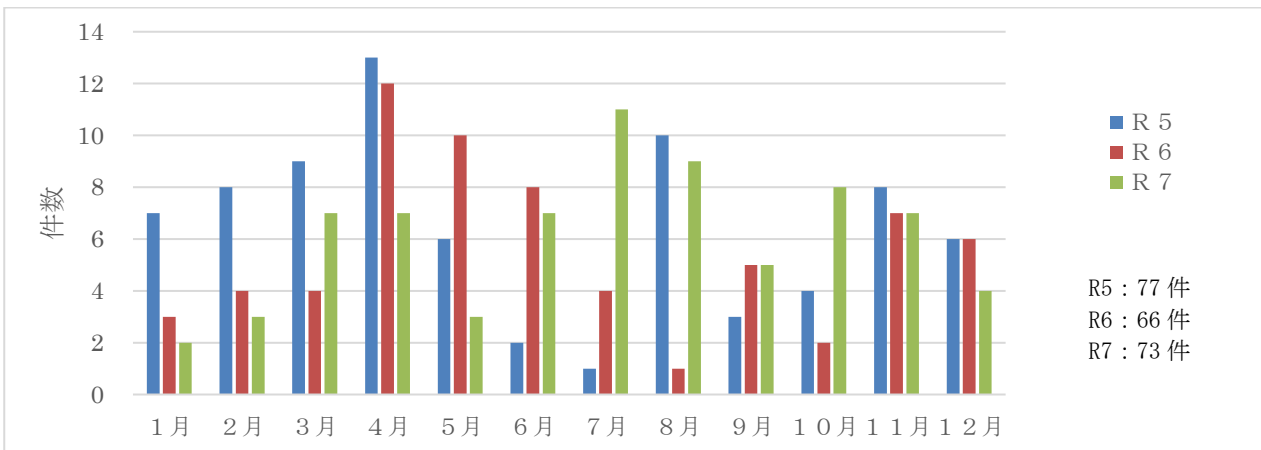
資料：管内消防機関の火災統計より作成

【表8】管内原因別 火災件数

	1位	2位	3位	4位	5位
令和7年	たき火、こんろ、 電灯・電話等の配線 ＜各6件＞	放火・放火の疑い ＜5件＞	たばこ、灯火、電気 機器、配線器具、ボ イラー、溶接機、焼 却炉、ストーブ等 ＜各1件＞		
令和6年	放火・放火の疑い ＜12件＞	たき火 ＜6件＞	電灯・電話等の配線 ＜5件＞	ストーブ ＜3件＞	煙突・煙道 ＜2件＞
令和5年	たき火 ＜9件＞	こんろ ＜6件＞	放火の疑い、 たばこ ＜各5件＞	電灯・電話等の配線 ＜3件＞	マッチ・ライター、 ストーブ ＜各2件＞

資料：管内消防機関の火災統計より作成

【図3】過去3年間の月別火災件数



(2) 自然災害発生状況

令和7年の自然災害による被害は、人的被害4人、住家被害0棟となっており、人的被害は全て1～3月の期間における雪害による被害となっている。

【表9】自然災害年報速報

区 分			令和5年	令和6年	令和7年	
人的被害	死 者	人	0	1	0	
	重 傷	人	1	3	3	
	軽 傷	人	1	1	1	
計			2	5	4	
住 家	全 壊	棟	0	13	0	
		世帯	0	13	0	
	半 壊	棟	1	353	0	
		世帯	1	353	0	
	一 部 損 壊	棟	0	0	0	
		世帯	0	0	0	
	床 上 浸 水	棟	0	61	0	
		世帯	0	61	0	
	床 下 浸 水	棟	0	728	0	
		世帯	0	728	0	
	計		棟	1	1,155	0
			世帯	1	1,155	0

資料：災害年報（管内市町、防災くらし安心部防災危機管理課）

【表10】主な被害額

区 分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設被害（公共土木）	千円	0	34,300,000	704,424
農林水産被害（施設被害含む）	千円	166,505	17,369,267	174,876
※被害額は未確定を含む。		166,505	51,669,267	879,300

資料：農林水産関係被害：庄内総合支庁産業経済部
公共土木被害：同総合支庁建設部

【参考】 各年度の主な災害

令和5年度……能登半島地震、飛島大雪

令和6年度……令和6年7月25日からの大雨

令和7年度……令和7年9月2日からの大雨、令和7年9月17日からの大雨

(3) 交通事故発生状況

令和7年の県内の交通事故死者数は減少したが、発生件数及び負傷者数は前年と比較して増加している。また、死者数23人（前年比1人減）のうち高齢者（65歳以上）が15人（前年比2人減）で65.2%を占めており高い割合となっている。

このうち庄内地域では、交通事故発生件数、死者数及び負傷者数のいずれも増加し、死者数5人（前年比2人増）のうち高齢者は3人（前年比1人増）で60%を占めている。また、庄内地域の交通事故死者数は県全体の21.7%を占めている。

【表11】交通事故発生件数・死者数・負傷者数の推移（1/1～12/31）

（単位：件、人）

	県 全 体			庄 内 地 域		
	発生件数	死者数	負傷者数	発生件数	死者数	負傷者数
平成28年	6,136	28(15)	7,670	1,234	7(5)	1,470
平成29年	5,816	38(26)	7,244	1,174	12(8)	1,448
平成30年	5,097	51(35)	6,199	1,055	16(10)	1,241
令和元年	4,292	32(22)	5,135	897	7(6)	1,066
令和2年	3,328	30(19)	3,975	739	9(6)	872
令和3年	3,184	24(16)	3,760	701	4(2)	832
令和4年	2,970	26(17)	3,469	619	9(5)	719
令和5年	2,780	34(17)	3,295	570	5(2)	660
令和6年	2,457	24(17)	2,927	493	3(2)	574
令和7年	2,486	23(15)	2,976	579	5(3)	695

※死者数のカッコ内数字は、高齢者の内数。

資料：山形県警察本部の交通事故発生状況より作成

【表12】交通事故発生件数、死者数、負傷者数の県・庄内地域の前年比較

	発生件数（件）			死者数（人）			負傷者数（人）		
	令和7年	令和6年	前年比	令和7年	令和6年	前年比	令和7年	令和6年	前年比
県全体	2,486	2,457	101.2%	23	24	95.8%	2,976	2,927	101.7%
庄内地域	579	493	117.4%	5	3	167%	695	574	121.1%
庄内／県	23.3%	20.1%		21.7%	12.5%		23.4%	19.6%	

資料：山形県警察本部の交通事故発生状況より作成

(4) 県税の調定額と収入額

① 県税決算

- 庄内総合支庁における令和6年度の県税の決算は、調定額 18,868 百万円、収入額 18,543 百万円、収入率 98.3%となっている。

② 調定額

- 令和6年度における調定額の県全体に占める割合は、16.0%である。
- 主要税目別では、調定額(現年度分)順に、個人県民税 6,916 百万円、法人事業税 4,282 百万円、自動車税(種別割) 3,455 百万円、軽油引取税 2,679 百万円、法人県民税 414 百万円、不動産取得税 355 百万円、自動車税(環境性能割) 271 百万円、個人事業税 260 百万円となっている。

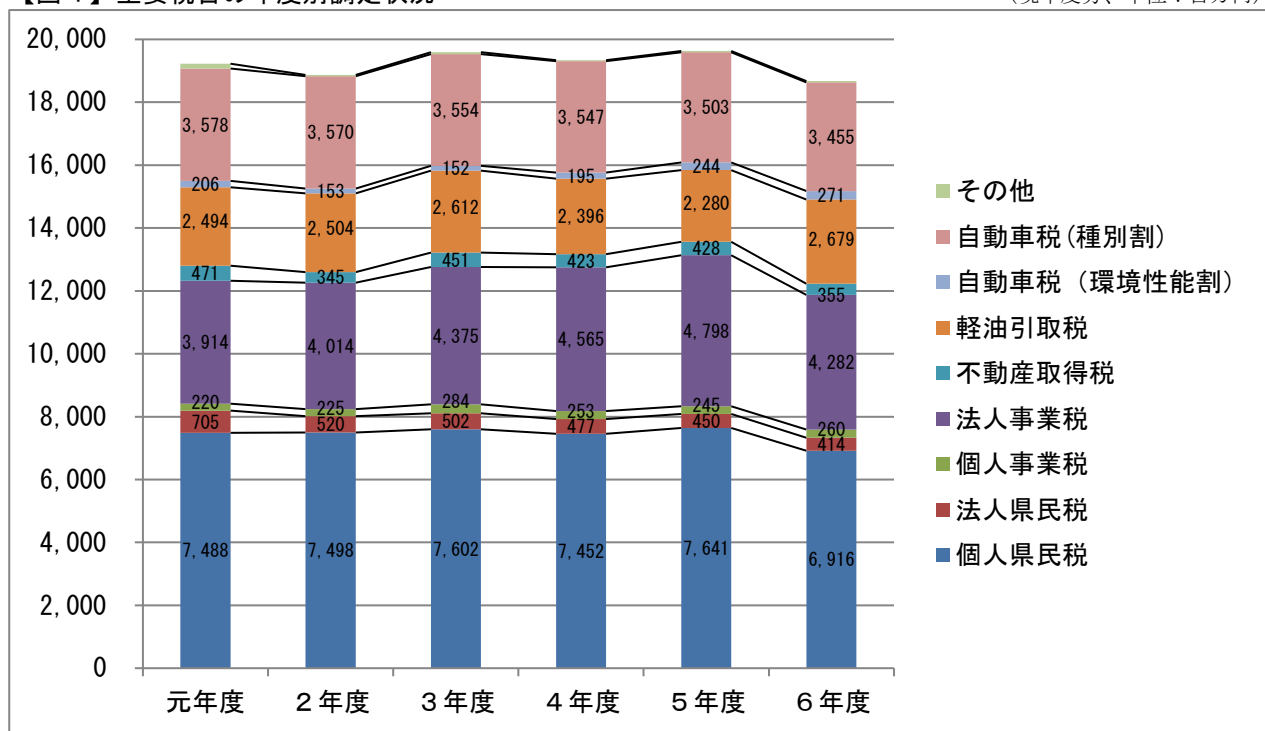
【表13】 調定額と収入額の推移

(単位：百万円、%)

		R元	R2	R3	R4	R5	R6
山形県	調定額	111,718	112,030	118,154	116,205	118,470	117,887
	収入額	110,434	110,339	117,073	115,150	117,392	116,658
	収入率	98.9	98.5	99.1	99.1	99.1	99.0
庄内	調定額	19,458	19,104	19,596	19,537	19,845	18,868
	割合	17.4	17.1	16.6	16.8	16.8	16.0
	収入額	19,204	18,872	19,379	19,311	19,628	18,543
	収入率	98.7	98.8	98.9	98.8	98.9	98.3

【図4】 主要税目の年度別調定状況

(現年度分、単位：百万円)



資料：庄内総合支庁税務課調べ